

様式第3号（第7条関係）

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 令和7年度 水戸市男女平等参画推進委員会
- 2 開催日時 令和8年2月26日（木）午後2時00分から3時45分まで
- 3 開催場所 水戸市役所2階 男女平等参画センター
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
兼子千恵子，後藤玲子，鈴木宣子，園部優，高村浩子，田山知賀子，
中村友美，萩原知樹，北條てるよ，水嶋陽子，森智世子，横山ちひろ
 - (2) 執行機関
雲藤陽子，須藤礼次，青山すみれ，横須賀智子
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 令和7年度事業報告及び指標の達成状況について（公開）
 - (2) 令和8年度事業計画について（公開）
 - (3) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
 - (1) 水戸市男女平等参画推進委員会次第
 - (2) 資料1 令和7年度実施事業
 - (3) 資料2 指標の達成状況
 - (4) 資料3 令和8年度事業計画
 - (5) 参考資料 令和7年度 水戸市男女平等参画施策の概要
 - (6) 参考資料 情報誌びよんど

9 発言の内容

執行機関

本日はお忙しいところ、御出席をいただき誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから令和7年度水戸市男女平等参画推進委員会を始めさせていただきます。私、男女平等参画課の須藤と申します。議題に入るまでの進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、恐れ入りますが会議資料に訂正がございましたので、本日お配りした会議次第に差し替えをお願いいたします。続きまして、資料の確認をさせていただきます。なお、資料は事前に郵送させていただいております。全部で6種類になりまして、まず、1枚目が本日の次第となります。こちらは、差し替えた後のものをお願いいたします。次が、資料1「令和7年度実施事業」、次が、資料2「指標の達成状況」、次が、資料3「令和8年度事業計画」、次が、黄色い冊子の「令和7年度水戸市男女平等参画施策の概要」、最後に、私どもで発行しております情報誌「びよんど」になります。

資料を本日お持ちでない委員の方は、事務局にお声がけをお願いします。よろしいでしょうか。また、今回、特に御意見をいただきたい項目について、会議次第に記載をさせていただきました。この質問限定というわけではございませんが、どうぞよろしくお願いいたします。それでは会議の開催にあたりまして、水戸市男女平等参画課長の雲藤より御挨拶を申し上げます。

(男女平等参画課長 挨拶)

執行機関

議題に入る前に、本委員会は、今年度初めての開催でございます。昨年度から変更になりました委員の方もいらっしゃいますので、御出席いただきました皆様に、自己紹介をお願いしたいと存じます。会議次第裏面の委員名簿のとおり、はじめに___会長、___副会長、次からは名簿のとおり、___委員から順に、1分程度でお願いできればと思います。なお、本日、___委員、___委員、___委員、___委員、___委員から欠席との御連絡を頂いております。それでは、___会長から順番に、よろしくお願いいたします。

(各委員 自己紹介)

執行機関

ありがとうございました。次に、事務局の職員を紹介させていただきます。

(執行機関 自己紹介)

執行機関

この場にはおりませんが、同じく事業系の芳賀をあわせた5名の職員で事業を進めております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議は、委員17名のうち、12名の委員に御出席をいただいております。2分の1以上が出席しておりますので、水戸市男女平等参画基本条例第20条の2第2項の規定により、本会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。

それでは、ここからの議事進行につきましては、水戸市男女平等参画基本条例第20条の2第1項の規定に基づき、会長にお願いいたします。____会長、よろしくお願いいたします。

____会長

それでは、規定に従い議事を進めてまいります。皆さまの御協力をお願いいたします。まずはじめに、当委員会につきましては、会議終了後に会議録を作成いたしますので、その署名人をお二人にお願いいたします。____委員と____委員にお願いしたいと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。それでは____委員、____委員、よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。(1)「令和7年度事業報告及び指標の達成状況について」、事務局から御説明をお願いします。

執行機関 (資料に基づき説明)

____会長

御説明ありがとうございます。ただいま事務局から、令和7年度事業報告と指標の達成状況の御説明をいただきました。冒頭事務局より御説明いただきましたように、特に御意見をいただきたいものは「集客」についてですので、実施事業についてということではないのですが、何か御質問や御質問等がございますでしょうか。

____委員

詳しい説明をありがとうございました。資料2の3と4の審議会等における女性委員について、増やす取組をどのようにされているのか、教えていただけますでしょうか。

執行機関

各部署における審議会委員等の任期が切れる時期にあわせて、女性委員の登用を呼びかける通知を年2回行っており、その際は、男女平等参画に関する知見を有する方等を登録した女性人材バンク制度もあわせて紹介しております。女性委員がいない審議会等については、通知のほかに、個別に女性委員の登用をお願いしております。

____委員

ありがとうございます。先日どこかの会議で、県はもう少し高いというお話もあったので、水戸市としても女性議員は増えてきましたが、女性委員もさらに増えていくと良いと思いました。

____会長

御意見、御質問ありがとうございます。そのほかにはございますか。

____委員

事業所向けということで、資料1の1ページ(4)ワーク・ライフ・バランス講座は募集を上回る参加者がいた一方で、2ページ(3)事業所への意識啓発セミナーでは募集人員を大きく下回っているように見受けられます。この二つは周知方法等に違いがあったのでしょうか。

執行機関

まず、ワーク・ライフ・バランス講座は、商工課と連携した事業ですが、商工課が茨城県社会保険労務士会へ委託して実施しております。その関係で、チラシや市報、水戸市の公式ライン、公式Xによる周知のほかに、社会保険労務士会が企業との独自のつながりにより、お声がけをした部分があるかと思えます。2ページの意識啓発セミナーでは個人を対象としており、企業を介した周知の面での差が出たものと考えております。

____会長

ありがとうございます。そのほかには何かございますか。

____副会長

男女平等参画推進基本計画(第4次)において新たにリプロダクティブ・ヘルス/ライツが盛り込まれて、資料2の2ページ14にあるように、知識の向上度も97.4%という高い数字が出ております。この数字について、計画の中の健康支援の部分は分かりませんが、性と生殖に関する健康と権利を含めて理解が進んだと理解してよろしいでしょうか。

執行機関

こちらの97.4%という数字につきましては、2月に行われたスポーツ・健康フェスティバルにおいて、来場者にリプロダクティブ・ヘルス/ライツについて直接説明を行い、アンケートを実施した数字でございます。直接説明させていただいた後なのでこのような高い数字となっておりますが、実際は、まだまだ市民の方の認識は低いと考えておりますので、次年度以降も、さらに市民の方の理解が深まるよう、様々な形での周知方法を検討してまいります。

____副会長

これだけ高い数字が出ると、市民の方の理解度が進んだものと私もうれしくなりますが、実際に、産む、産まないということも女性の権利として選んでいけるように、引き続き講座等を開催して、市民の方への周知を進めていただけるとありがたいです。

____**会長**

ありがとうございました。そのほかに何かございますか。

____**委員**

周知の手法ということで御意見をいただきたいとのことで、私も議会報の編集委員をやっており、4月に呉市に視察に行く予定です。呉市の議会報を見ると、表紙に「私のお墓」と大きく書いてあり、インパクトのある表紙になっています。中身を見ると合葬式墓地を作ったという内容ですが、非常に市民の目を引くということで、私どもも調査研究を進めるところです。こちらの情報誌「びよんど」なども表紙をインパクトのあるものにするとか、事業所へのセミナーでも「アンコンシャス・バイアス」ではあまり馴染みがないので、分かりやすい単語を使ってチラシを作成するなどを考えてみてはどうでしょうか。

____**会長**

ありがとうございました。事務局でいかがでしょうか。

執行機関

私どもで講座等を行う際にチラシを作成するのですが、なかなか手に取ってもらえないということがあり、目を引くチラシの作成には頭を悩ませているところですので、今後、さらなる効果的な方法について、検討してまいりたいと思います。

____**副会長**

個人的な意見になりますが、今回の情報誌「びよんど」は最高でした。写真コンテスト入賞作品から始まり、高校生の座談会や、女性に関する法律の改正、最新データなど、まさに男女平等参画課の結集であり、見応えがあつて他の自治体にも引けをとらないと思います。さらなる充実を目指してほしいです。

____**会長**

ありがとうございます。年1回の発行にはなりましたが、内容も充実していますし、読む人の目線に沿った内容だなとも感じました。ただし、____委員からのお話にありました呉市の議会報もキャッチーだと思いますので、そういった手法も取り入れていただいくのも良いと思います。ほかに御意見、御質問はございますか。それでは、私から1点よろしいでしょうか。資料1、5ページの相談事業について、相談件数とは難しいもので、数だけで判断できるものではないと思いますが、私が気になるのは、水戸市は以前、事務事業評価を行っていましたが、今は限られたトピックスのみ行っていると理解しております。全ての事業にお金がかかっているのか、お金に見合った効果が出ているのかは厳しく問われなければならないと思いますし、相談事業を委託しているのであれば、それなりの人件費がかかっており、単発のセミナーと比べても違う規模感の経費がかかっているかと想像します。この部分をどう評価すれば良いかということをお聞きさせていただきます。3つの相談事業のうち、1つ目は月曜日から金曜日なので、おそらく職員が対応してらっしゃるのでしょうか、0件でも他の事業を行っているのか、そういうものかなと感じます。2つ目と3つ目については、どのような形で行われているのかをまず教えていただいでよろしいでしょうか。

執行機関

おっしゃるとおり1つ目は職員が対応しております。2つ目と3つ目につきましては、専門の方に回答をお願いしております。マイノリティ相談につきましては、実施時間中に相談があると、外部の専門相談員に電話を転送しております。メール相談については24時間対応で、専門相談員に回答を依頼し、いただいた回答を相談者に返信しております。労働相談につきましては、実施時間中の相談電話は、専門の女性社会保険労務士の方に電話を転送し、回答をお願いしております。

——会長

ありがとうございます。この2つ目と3つ目のように委託をする場合は、この分野で他の窓口もあるので、必ずしも水戸市でやらなければならない、というものではないはずです。1つ目については、本当にお困りの方は他の窓口にご相談に行かれていると思いますので、必ずしもニーズのないものは見直していただき、他の窓口との連携を深めて、むしろそこを積極的に広報する等、そちらにお金を使っていたほうが、本当に困っている方の必要性に届いて支援にもつながるのではないかと、というのが感想でございます。

——副会長

子育て支援課が担当しているDV相談などは、消費生活センターにも相談が入ることがあります。以前に、パートナーのDVで千葉県から逃げてきた女性がおり、消費者問題も絡んでいたため、子育て支援課と協力して進めたことがありました。男女平等参画課にもそういった相談が入ることはあると思いますので、それは1件にカウントしても良いのではないのでしょうか。

——会長

私が申し上げましたのは件数のカウントの話ではなく、この分野はほかの相談窓口があり、相談者は他からも様々な情報を得て相談しているので、0件が問題ということではないということです。市役所の中で連携して解決に繋がれば良いですし、そういった事例も実際にあるということで、安心できる情報をいただけたと思います。ありがとうございます。そのほかに御意見、御質問はございますか。無ければ次の議題に移りたいと思います。それでは次に、議題（2）「令和8年度事業計画について」、事務局から御説明をお願いします。

執行機関（資料に基づき説明）

——会長

どうもありがとうございます。事務局から令和8年度事業計画について御説明をいただきました。何か御意見、御質問はございますでしょうか。今回は、事務局より集客についてのアドバイスをいただきたいという点もございます。よろしく願いいたします。

——委員

2月1日に行われたリプロダクティブ・ヘルス/ライツについて、ポスターやチラシでの

啓発を行い、総数 400 人ということですが、その際の反響などについてお聞かせいただけますでしょうか。

執行機関

当日は、チラシにウェットティッシュを添えて配布し、説明を行いました。言葉を聞いたことがないという方が多かったです。丁寧な説明をして御理解していただきました。生涯における健康の話なので本来はすべての年代に関係するのですが、妊娠や出産という言葉を出すと若い人のみに関係するということに捉えられてしまうことがあり、説明に苦慮した点もございました。

執行機関

少し補足させていただきますと、このスポーツ・健康フェスティバルというのは水戸市のスポーツ課と健康づくり課がメインで行っている事業でありまして、小学生などお子様向けのスポーツイベントや、健康に関する測定など様々な事業を行っておりまして、その中に男女平等参画課が1つブースを作らせていただき啓発を行いました。先ほど御高齢の方の話がありましたが、小学生などのお子様連れの方で説明を聞いてくださった方も意外と多くいらっしゃいました。その中で、お子様に対しての説明と、御高齢の方に向けての説明の仕方です。工夫が必要であると感じたところです。

___委員

職員の方が説明をされたということですね、わかりました。それとヒューマンライフシンポジウムについて、2部構成というのは決まっています、講師の方も決まっていますか。

執行機関

今、検討しているところでございます。

___委員

男女平等に関しては男性がとても重要なので、知っていただくという意味でも男女で半々くらいの参加をしてほしいですし、若年層の意識を変えていく点においても、高校や大学への周知を行っていくべきだと思います。場所は商業施設というお話がありましたが、これは違いましたか。

執行機関

それは違う講座になります。ヒューマンライフシンポジウムは水戸市民会館を予定しております。

___委員

わかりました。若年層や男女が半々になるような方向でやっていただきたいと思います。

___会長

どうもありがとうございます。ほかに御意見、御質問はございますか。

___委員

学校教育の立場からお話させていただきます。男女平等参画の素地を築いていくために

は、小学校・中学校という成長期を迎えて男女差が生まれていく年代のこどもたちが、平等に接するという基礎的な部分を学んでいく必要があると思います。その中で、学校教育では道徳や人権といった教育を行っておりますが、そういう所とコラボレーションをして、こどもたちに広く男女平等参画の基礎を学んでいただくような計画はあるのでしょうか。

執行機関

来年度に関してそのような計画はございませんが、過去において、性別にとらわれない職業選択として、中学校に出向き、男性保育士や女性消防士をロールモデルとして話をしてもらった講座を実施いたしました。また、今年度からSTEM女子講座として、女子中高生を対象に理系の大学や企業を訪問し、直接話を聞くといった事業を行っております。

____委員

ありがとうございます。学校教育は今、多岐にわたっておりまして、教員は教科だけを教えれば良いということではなく、幅広い分野に携わっているのが現状です。そういった部分で、教員以外でそのような活動をされている方や見識を持った方に、学校に来て話をさせていただきだけでも、こどもたちにとって心が耕されると思いますので、ぜひ検討をお願いいたします。

____会長

ありがとうございます。ほかに御意見、御質問がございましたらお願いいたします。

____委員

具体的なアイデアをということで、せっかく行政機関から来ておりますので、2つほど提案をさせていただきます。ヒューマンライフシンポジウムについて、____委員からもお話がありましたとおり、男女に半分ずつ来てほしいと思います。先ほど、産む産まないの権利のお話もありましたが、せっかく令和で女性もバリバリ働ける時代なので、頑張り続けるという選択を行った時に、産む権利が阻害されるという所も令和ならではの問題だと感じます。茨大や筑波大にも行きましたが、若い学生もこの点にとっても興味を持っています。どういったアプローチに興味を持ってもらうかという、就活に当たって、あなたはどのような視点で会社を選びますか、ゼネラリストで全国どこへでも行きますか、スペシャリストとして茨城で働きますか、2人で共働き・共育でいきますか、1人で働き分業でいきますか、などと聞くととても興味を持ってもらえます。その辺りを詰めていながら、そのようなテーマにすると良いのではと思います。事業者の集客については、例えばアンコンシャス・バイアスを説明するのならば、その言葉を知らない人が多い中で、アンコンシャス・バイアスの説明会とは書かないほうが良いのではと感じます。また集客に当たり、商工会議所からメリットを添えて個別にアプローチを試みていただくのも一つの手法だと思います。具体的なアイデアとしては、社労士会に委託してカスタマーハラスメントセミナーを行った旨の話がありましたが、例えば、指標にもあり労働局で認定させていただいている、えるぼし・くるみん認定取得数については、水戸市だけでなく茨城全体で、全国比で大変少ない数となっております。ただし公共調達の入札への加点や税制優遇につながる場合もあり、早く認定し

てほしいという要望も受けることもあります。取得についてはそれほど難しくなく、法律改正などもあるので、この辺りを絡めて事業を実施してみてもいいと思います。

____会長

ありがとうございます。いくつかの御意見をまとめて、後ほど事務局から何かあれば、お願いいたします。ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。

____委員

事前課題をいただいていたので、一生懸命考えてまいりました。____委員とかぶるところも多いのですが、事業所に関していえば、商工会議所等を巻き込みながら、事業者が、これは事業の一環として参加しなければいけない、と意識づけていくことが望ましいのではないかと思います。マッチングができると感じたものとして、女性活躍推進法に付随するもので、新たに女性従業員の健康管理というものが含まれることになっておりますので、リプロダクティブ・ヘルス/ライツとの併用も可能ではないでしょうか。えるぼしについても、新たにえるぼしプラスが制度化されますが、カスハラにしても女活法にしても、事業所の方は社労士に個別に研修を依頼している状況です。それが水戸市で無料で受けられるという流れで、商工会議所を通して周知できれば、申込は殺到するのではないかと思います。事業所にとって、これは参加しなければいけないものだという位置付けで周知されるのが良いのではないのでしょうか。ヒューマンライフシンポジウムについては、一般市民や若い世代がこのチラシを見たときに、これはいったいなんだろう、頭の中でイメージが結びつきにくいのではと感じました。来年度に向けてタイトルを変えるというのは難しいと思いますが、趣旨や目的が見えるようなサブタイトルをつけるのもいいのではないかと思います。同じようなシンポジウムで「東京女性未来フォーラム 2026」というものを先月、オンラインで拝見しました。東京都が主催ですが企業サイドも多数出演し、また、中高生のプレゼンテーションも心に響くものがありましたので、水戸市の基調講演も1人にこだわる必要があるのかな、とも感じます。もう少し実例として行っている企業等と呼んでパネルディスカッション等を行うことで、関係する人が増えてより情報が広がっていき、足を運ぶ人も増えると思います。産学官でいう産の部分の参加が見えてこない印象がありましたので、それを含めて御検討いただければと思います。

____会長

どうもありがとうございます。ほかに御意見、御質問はございますか。

____委員

皆さんのお話をお聞きして、昨年のヒューマンライフシンポジウムに参加した立場から感想を述べさせていただきます。1部の講演は多少難しかったです、ためになりました。____委員のおっしゃるとおり、講演を聞く形なので、産学官でいう産の部分の参加は少なかったと思います。2部は色々な学校の高校生がグループをつくり、期間中にテーマを決めて事前に話し合い、当日発表する形であったと記憶しています。制服についてがテーマで、自分のジェンダーに関することを発表した方もいました。昔の高校生ではみんなの前で言え

ないようなことも堂々と発言していて、良い発表でした。ただし来場者を見ると若者は少なかったもので、先ほど____委員がおっしゃったように、学校生活で悩みを抱えている方や、迷っている方が聞けば、力になるのではないかと感じました。

____会長

どうもありがとうございます。ほかに御意見、御質問はございますか。

____委員

____委員、ありがとうございました。ヒューマンライフシンポジウムにつきまして、昨年、私どもが関わってから初めて高校生に登壇してもらい、____大学の____先生と共につくり上げました。このシンポジウムの底辺には男女平等参画基本条例があり、市民に、この条例をより知ってもらうことを目的として、講師の選定や広報の手法等の検討をしております。根底に流れているのは「未来へつなぐメッセージ」であり、実行委員にも若い方が入っています。昔は基調講演を行い、その後パネルディスカッションという流れでしたが、若い方が来場しやすいように、昨年始めて高校生に登壇しました。来場した方が、今度は友人を誘って来場するというように、どんどん若返るとというのが目標であり、私どもが来年度も行うとは決まっておりますが、実施する場合は、できるだけその方向でやっていきたいと考えております。また、条例を施行して25周年になるので、なぜこの条例が私たちに必要なのかということを含めて、今話しあっております。

____副会長

ヒューマンライフシンポジウムは、平成13年9月の日本女性会議2001みと開催にあわせた男女平等参画基本条例の施行を受けて、毎年この時期にシンポジウムを開催すべきという声をもとに開催されており、講演者は、毎年様々な視点から決めています。名称については、女性問題は人権問題であるとしてヒューマンという言葉で以前から使っています。先ほど、参加者は男女半々が良いという意見がありましたが、実際の来場者は、女性が多いです。前回は、シンポジウム後半に高校生が発表する形式をとり、夏休みに高校生それぞれがジェンダーについて勉強したうえで、お互いに意見を出し合いながら集約して、非常にすばらしい発表になりました。来年度、私どもが事業をとれるとは決まっておりますが、ヒューマンライフシンポジウムという名称でなくても良いですし、皆で意見を出し合い、一番良い方法で決まれば良いと思います。

____会長

シンポジウムの歴史を教えてください、どうもありがとうございました。こちらは、水戸市から民間への委託事業になりますので、どこに委託するかは決まっていないという前提でお話をしてもらうのがよろしいかと思えます。基本的には、水戸市の予算を使って、公正に考えて委託をすることになりますので、それをふまえて御発言をお願いいたします。来年度については分かりませんが、昨年は高校生を加えて大変良かったということで、有益な情報をありがとうございました。ほかに御意見、御質問はございますか。

____委員

いま議論されていますヒューマンライフシンポジウムについては、私にも、出席者数が少ないので学生に声をかけてほしいという話が複数個所からありますが、非常に内容の説明がしづらいというのが正直なところ。なぜヒューマンライフではない、ライフなのか。なぜ2つの単語がくっついているのかということはかなり聞かれますので、先ほどの____委員のお話を聞いていて、そのとおりであると感じました。これは____先生にお伺いしたいのですが、大好評というのは参加した方からの意見でしょうか。結局、学生に参加を依頼して、実際に行ってみると楽しかったと言うのですが、そもそも私がうるさく言うので申込だけして、実際に行っていない学生もたくさんおります。こういうものは、参加していない方のコメントというのは、当然なかなか入りづらいので、参加して良かったという声が集まってしまふんだと思います。でもやはりこの名前を付けていることで、離れていってしまっている可能性もあるんじゃないかというのは、実際に学生の反応を見ていると感ずるところです。そういう意味では怒られるかもしれませんが、ある程度集客力のある方をメインとして、そのセットでイベントを行った方が、今の時代、男女平等参画の理念というものを、より広く伝えることができるのではないかと思います。実際に名古屋市において、居場所のない若い女の子への支援を行うなかで、市の名前は出さないうで行っていますが、繁華街にショッピングピンクのテントを出して、名前も聞かずに自由に過ごすことができる場所を提供して、そこで市の方で伝えたいこと、例えばDVがあったらここに連絡、というようなことをそっと伝えていきます。そのように、いわゆるワーク・ライフ・バランスとか、ヒューマンライフといった言葉を出すと敬遠してしまうような人を、今後取りこめると良いのかなと思いました。

____会長

ありがとうございます。私に御質問をいただきましたが、申し訳ありませんが私はこのシンポジウムには参加しておりませんでしたので存じ上げないのですが、____委員がおっしゃったように良かったということと、おそらく事務局がアンケートをとって満足度などを把握していると思いますので、会場のキャパシティに比べてどうなのか、狙ったターゲットが来ていたのか等を総合的に考慮しますと、もっとより良いものができるのではないかと思います。

そのほかに、御意見や御質問はございますか。無ければ私からも意見を述べたいのですが、その前に事務局から、今までの意見に対してのお考えなどはございますか。例えば事業所に対してならば、個人向けの事業について、外部との連携を強めることや、事業所へのメリットを出すことなどについて。ヒューマンライフシンポジウムでは、男女半々位の参加が望めるような講師や内容を選定をすることや、25周年の節目ではありますが、タイトルの見直しを含め、若い人に知っていただけるような内容を検討するのが良いのではないかと思います。ことであつたかと思ひます。その受けとめとして、今断言できることは多くはないと思ひますが、事務局としてのお考えなどがございましたら、お願いいたします。

執行機関

貴重な御意見や、具体的な御提案をたくさんいただきましてありがとうございます。また、昨年のヒューマンライフシンポジウムにつきましても、お褒めの言葉をいただき大変恐縮でございます。事業所を対象とした2つの事業につきましても、実際には、商工課が主体となって行ったものと、男女平等参画課が主体となって行ったものがございます。ただし、どちらも社会保険労務士会や商工会議所には御協力いただいたところです。事業所へのメリットを提示するというのは大事な視点かと思っておりますので、今後の事業に生かしてまいりたいと考えております。ヒューマンライフシンポジウムにつきましても、登壇した13名の高校生のうち、男子生徒は2名のみで、アンケートでも男性が少ないとの御指摘をいただいております。今年はパネルトークを検討しておりますが、登壇者については男女の数は同数にしたいと考えております。来場者の男性を増やす手法は、今後検討していきたいと思っております。名称につきましても、長い歴史があるものではございますが、変える必要があれば変えていくところかと思っておりますので、今後検討してまいりたいと思っております。

会長

ありがとうございます。それでは、私も思ったことを述べさせていただきます。まずヒューマンライフシンポジウムの名称について、すぐに変更が出来ないのならば、私どももよくやるのですが、タイトルを小さくしてテーマを大きく表示するなどという手法もあるので、そこは工夫していただければと思います。私も____でシンポジウムの案内するときに、名前を出すと、むしろ敬遠される場合があります。人権の意識が高い低いではなく、若い学生だと、自分たちに関係がないと感じてしまうところがあるので、名称を残すにしても冠として残すなども良いのではと思います。また、令和8年度の事業計画については、今までの経緯もあって、同じ内容を続けることに縛られているという印象を受けます。委員から同じようなイベントがあるという御意見もありましたが、集約して、効果があるものに絞るとするのは、非常に重要なことです。人を集めることが目的ではないので、時間をかけて効果を検証していただきたいと思っております。目標指標につきましても、計画を策定する時にバタバタとつくって、その後は定点観測をするようになってしまいがちですが、時間をかけて、本当に追うべきもの、これが達成できたら成功というような目標を立てるべきだと思います。この男女の計画だけでなく行政の様々な計画は、これを達成して成功という目標になっていないことが非常に多いです。民間企業であれば、それをしないと会社がつぶれてしまうからその目標になっておりますが、行政の場合は、地域における様々な事情もありますし、自分でお金を出しているわけではないということもあります。私も____大学なので、その辺りの苦しさはよくわかりますが、今一度、市民のための意味のある目標を立てて、その目標を達成するための事業を行うということで、全体を編成するということを是非やっていただきたいです。そのためには、これだけの数の事業を進めていくのは難しいと思っておりますので、絞っていただき、時間をかけて事業の再編成を行っていただきたいというのが私の意見となります。

それでは、そのほかに何か御意見、御質問はございますか。無いようであれば、次に、議

題（3）「その他」について、事務局から何かありますでしょうか。

執行機関

それでは、私から委員の皆様へ、この男女平等参画推進委員会の任期について、御説明いたします。こちらの委員会は、今年の8月24日までが任期となっておりますが、今のところ、8月までに開催の予定はございませんので、本日が最後の開催となっております。限られた回数ではありましたが、____会長、____副会長をはじめ、委員の皆様には様々なお立場から幅広い意見を頂戴いたしましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。以上でございます。

____会長

どうもありがとうございました。それでは、ほかに御意見等なければ、本日の議題は以上になります。委員の皆様には、議事進行にあたり御協力をいただき、また、たくさんの御意見を賜りまして、誠にありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

執行機関

委員の皆様には、長時間にわたり御審議をいただきまして、大変ありがとうございました。以上を持ちまして、令和7年度 水戸市男女平等参画推進委員会を閉会いたします。